

2009年12月14日

各位

会社名 住友金属鉱山株式会社
代表者名 代表取締役社長 家守 伸正
(コード番号 5713 東証第1部)
問合せ先 広報 IR 部 早川 直伸
(TEL. 03 - 3436 - 7705)

フィリピン最大手ニッケル鉱山会社の株式の追加取得について

住友金属鉱山株式会社(本社:東京都港区 社長:家守伸正)は、このたびフィリピン最大手のニッケル鉱山会社であるニッケル・アジア・コーポレーション社(会長:マニュエル・B・サモラ・Jr、以下「ナック社」という)への追加出資を決定し、同社株式の8.5%を、約22百万米ドルにて取得いたしました。この追加株式取得により、当社からナック社への出資比率は25.0%となります。

ナック社は世界有数のニッケル資源国であるフィリピンにおいて、最大規模のニッケル鉱石生産を行う鉱山会社です。2006年2月に、それまで個別に経営されていたZamoraグループ傘下のニッケル鉱山会社の資本を統合し、経営資源を集中させることにより、経営の一層の効率化を実現するために設立されました。

ナック社傘下には、当社がフィリピンで操業するコーラルベイ・ニッケル社への鉱石供給を行うリオツバ・ニッケル・マイニング社もあり、当社とナック社はこれまでも事業上緊密な関係を有しておりましたが、本年8月には当社が約39百万米ドルを出資し、同社株式の16.5%を取得し資本関係を結ぶに至りました。また、現在、当社が推進中のタガニートHPAL(高圧硫酸浸出)プロジェクトでも、ナック社がこれに参画し、傘下のタガニート・マイニング社が鉱石を供給することを計画しています。

今回の株式の追加取得により、当社にとって重要な戦略的パートナーであるナック社との関係を一層強いものとし、当社の事業戦略を推進してまいります。

ニッケル事業では、フィリピン・コーラルベイでHPAL法によるニッケル製錬を世界に先駆けて商業的に成功させ、世界最高水準のニッケル製造技術を実証いたしました。これを足がかりに現在計画中のタガニートHPALプロジェクトの推進および新居浜ニッケル工場拡張など積極的な事業展開を行っており、両プロジェクトが完成した暁には非鉄メジャーの仲間入りを果たすべく引き続き力強く邁進してまいります。

以上

ニッケル・アジア・コーポレーション概要

1. 会社名: NICKEL ASIA CORPORATION

2. 所在地: Makati City, Philippines

3. 資本金: 412百万ペソ

1ペソ = 約2円

4. 主要株主 M. B. Zamora Jr. 37%

P. T. Ang 19%

L. J. L. Virata 18%

5. 傘下鉱山(すべてニッケル鉱山)

Rio Tuba(リオツバ)鉱山

Taganito(タガニート)鉱山

Cagdianao(カグシヤナオ)鉱山

Taganaan(タガナアン)鉱山

South Dinagat(サウスディナガット)鉱山 ほか

6. 売上高 06年75億ペソ、07年166億ペソ、08年56億ペソ

7. 採掘鉱石量 約7百万WT/年(07年実績)

8. 販売鉱石量 06年6.5百万t、07年7.5百万t、08年3.5百万t

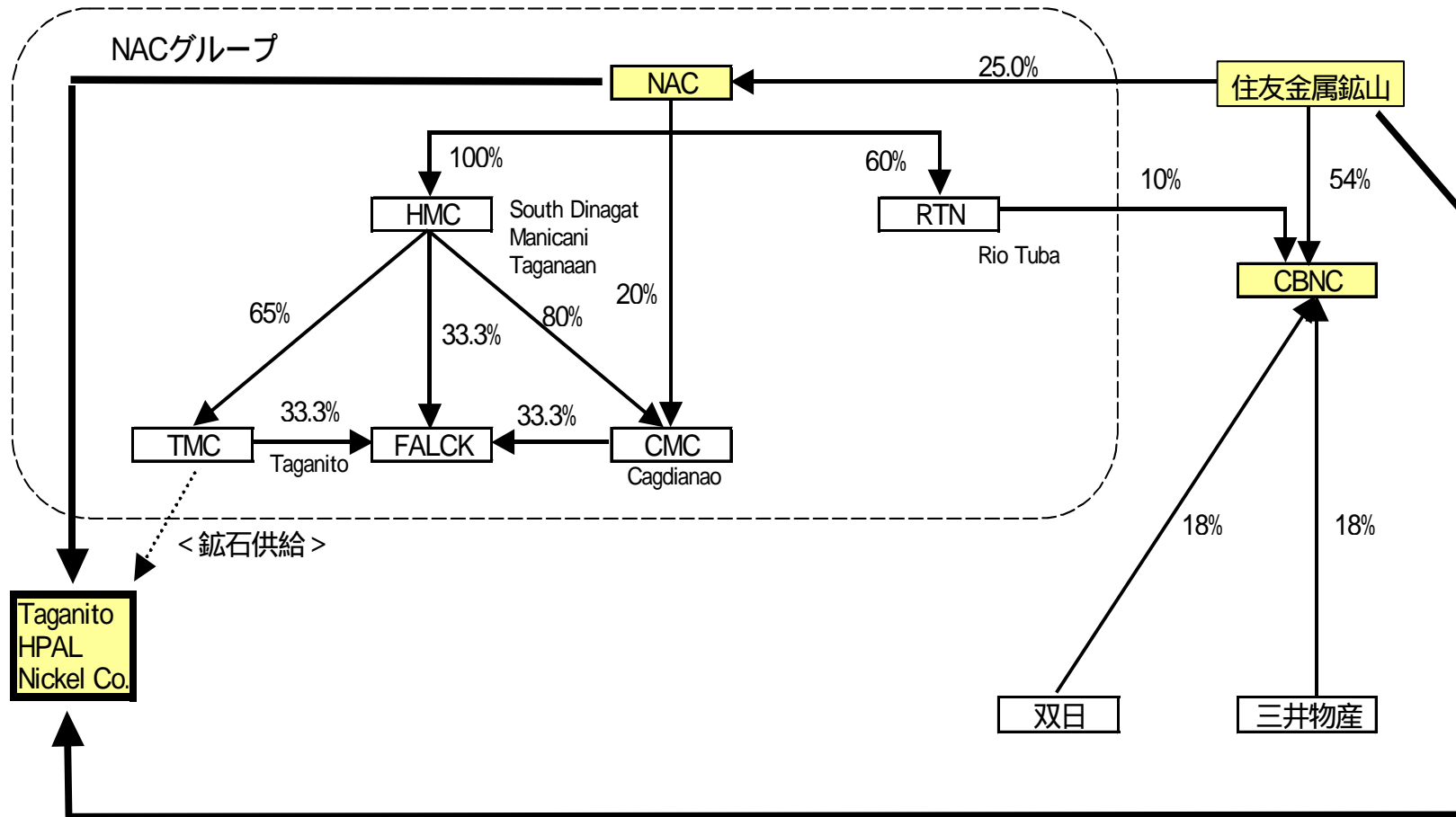
9. 主な販売先 コーラルベイニッケル等

10. 資本関係図

別添のとおり

以上

NACおよび子会社等の資本関係図



HMC: Hinatuan Mining Corporation, RTN: Rio Tuba Nickel Mining Corporation, TMC: Taganito Mining Corporation
 CMC: Cagdianao Mining Corporation, CBNC: Coral Bay Nickel Corporation, FALCK: 探鉱会社